

大学名等	福島県立医科大学大学院医学研究科
教育プログラム・コース名	小児がん長期フォローアップインテンシブコース（インテンシブ）（テーマ②）
対象職種・分野	医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなど
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	・小児がんのフォローアップレベルを理解し、レベルに応じたフォローアップ計画を立案できる医療者。 ・疾患ごとの治療内容を把握し、特徴的な晩期合併症について理解できる医療者。 ・臓器別の合併症について理解し、適切な検査や専門医への紹介などに対応できる医療者 ・患者や家族のQOLや心理的、社会的問題について把握し、適切な対応ができる医療者 ・復学・進学・就労などの支援、生命保険や手帳取得、利用可能な社会資源などについて理解できる医療者 ・治療終了後のワクチン接種について理解し、実践できる医療者
修了要件・履修方法	・日本小児血液・がん学会 小児・AYA世代がんの長期フォローアップ研修への参加 ・本教育プログラム・コースで定める科目について、オンラインで1時間、対面で5時間、小児AYA長期支援センター実習5時間 合計10時間以上を履修し、課題レポート審査で合格すること。
履修科目等	<必修科目> 日本小児血液・がん学会 小児・AYA世代がんの長期フォローアップ研修修了 小児がん総論講義（オンライン1時間）、小児造血細胞移植講義（対面1時間）、小児造血細胞移植後フォローアップ講義（対面1時間）、小児がん家族支援・問診票の活用（対面1時間）、小児がん予防接種講義（対面1時間）、就学・就労・教育支援（対面1時間）、小児AYA長期支援センター実習実習（5時間）
がんに関する専門資格との連携	小児血液・がん専門医（日本小児血液・がん学会）の研修施設として認定。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	・小児がんの長期支援に関するコースは今までなかった。 ・当院小児AYAがん長期支援センターが実際に稼働しており、多くの患者が受診しているが、このような患者への対応を円滑に行うためには、専門的な知識が必須である。 ・医師のみでなく、幅広い職種に小児がんフォローアップについて理解頂き、今後継続的に支援できるような体制整備が必須である。 ・小児がん治療後の長期フォローアップガイド（クリニコ出版）を参考書として、長期フォローアップについて講義、実習を行い知識を定着させることが可能である。
指導体制	小児腫瘍内科医師数名、小児AYAがん長期支援センター医師および看護師が主体となり講義、実習を行う。
修了者の進路・キャリアパス	コース終了後は、小児腫瘍内科病棟、小児腫瘍内科外来、小児AYAがん長期支援センター外来、小児がん相談窓口などで、小児がんサバイバーの支援にあたる事が可能である。